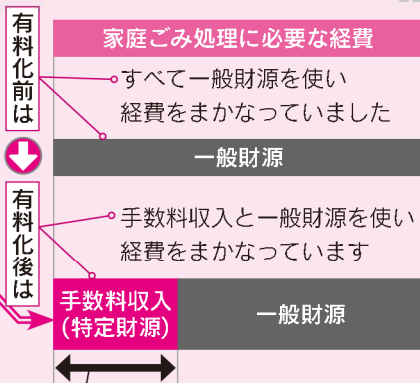


令和3年度決算 家庭ごみ処理 手数料相当額編



【問い合わせ】
環境都市推進課 ☎(888)5706

手数料相当額のイメージ



この分の一般財源の支出がなくなり
他の事業に使えることに！

手数料相当額(一般財源) 2分の1を施設整備費の積み立て(右表①)に、残りを家庭ごみ減量などの対策事業(右表②)とその他の環境対策事業(右表③)に使っています

■ 令和3年度の1人1日あたりの家庭系ごみ排出量(資源化物・水銀含有ごみを除く)は515^gです

■ 手数料相当額の約半額を毎年積み立てている(右表①)一般廃棄物処理施設整備基金から、令和3年度は2億4,380万円を取り崩し、溶融施設大規模改修事業などの事業費の一部に充当しました

各事業の詳細やこれまでの状況などは市ホームページをご覧ください。

◆ 広報ID番号 1036141

市では、ごみ減量のため、市民のみなさんに家庭ごみ処理手数料を負担していただいております。全額を家庭ごみ処理に必要な経費に充てています。

この手数料と同額の「手数料相当額」は、条例で使い道が定められており、ごみ減量やさまざまな環境対策に活用することになっています。次の世代の負担を減らし、私たちの美しい環境を未来に引き継ぐため、今後ともご協力をお願いします。



総合環境センター

■ 家庭ごみ処理手数料収入(歳入) 4億6,808万5千円
■ 手数料相当額を活用した事業など(歳出) 4億6,808万5千円

歳出の内訳(①+②+③)

①一般廃棄物処理施設整備基金積立	2億3,404万3千円
②家庭ごみ減量などの対策事業	1億1,754万2千円
ごみ集積所の設置や修繕などに対する町内会への補助	829万6千円
生ごみ処理機などの購入費補助、食品ロス削減の取り組み	439万8千円
資源化物の集団回収を行う町内会などへの奨励金	1,308万2千円
資源化物の祝日収集	2,459万7千円
家庭から排出される古紙類回収の促進・支援	3,509万9千円
ごみ減量説明会・キャンペーンなどによる情報発信	744万2千円
ごみ集積所のパトロールや現場調査・指導	271万4千円
不法投棄防止のパトロールなどの対策	498万9千円
家庭ごみ処理手数料収納管理、徴収事務委託やシステムに係る経費	1,692万5千円
③その他の環境対策事業	1億1,650万円
地球温暖化対策事業	
住宅用太陽光発電システムなどの導入費用補助	1,925万8千円
再生可能エネルギー施設のPR、情報発信	243万3千円
エネルギー使用状況の分析による市有施設の効率的運用	1,522万8千円
市有4施設での省エネ設備導入による光熱費削減	831万6千円
スマホアプリ「あきエコどんどんプロジェクト」のシステム運用	651万円
緑のカーテン写真展などによる地球温暖化対策の推進	91万3千円
溶融施設の燃料の一部としてバイオマスチップを使用	1,684万4千円
中小企業などの省エネを促進する設備投資を支援	1,189万4千円
生活環境の保全に寄与する事業	
微小粒子状物質(PM2.5)の成分分析	825万円
水銀含有ごみの収集運搬・処分に必要な経費	2,685万4千円
地域振興基金取り崩し分(歳入と歳出の差額を後年度の事業費に活用するために積み立てていたもの)	1,737万7千円
中小企業などの省エネを促進する設備投資を支援	1,737万7千円